

現代日本の祈りの空間における建築家の設計意図

- 建築家の思考と表現に関する研究 -

Design Theories of Contemporary Japanese Architecture for Prayers

安田研究室 05M17154 田中 真紗美

1. 序 現代日本においてはさまざまな用途の建築が建てられており、多くは実生活に密接に関わる日常のものである。一方、非日常的かつ精神的なものとして「祈り」の建築が存在し、これを「祈り」という抽象的でありながらも単一の目的をもった建築タイプの一つであると考えられる。本研究では建築雑誌に掲載された現代日本の建築作品⁽⁴⁾の中から、設計論より人が「祈り」を行う空間であると判別できる事例を研究対象とした。それらの設計論に示された設計意図から、建築家が「祈り」の空間に追求した理想とする姿およびそれに伴い実行された建築的操作を分析し、建築家が設計に際して表現へと至る思考過程について、その特徴の一端を明らかにすることを目的とする。

2. 「祈り」の空間における設計意図

2-1. 設計意図の性格 設計論の内容を「-する(目的)のために」などの設計意図⁽⁵⁾の意味内容と、「-(対象)を-(操作)した」などの実現手法の大きく2つで捉えることとした(図1)。全ての設計意図は対応する実現手法の有無によ

り分類される⁽⁶⁾。実現手法が語られていない場合は設計意図が「祈り」の空間に対する一般解として述べられているもの(以下(一般))と、明らかに設計主題として建物全体について述べられているもの(以下(個別))とに分類された。また、実現手法が語られている場合は、実際の建物の一部分についての設計意図(以下(部分))がみられ、これら(一般)(個別)(部分)を、設計意図の性格とする。

2-2. 設計意図の意味内容 図2の分析例のように設計意図を読み取り、それらを相互に比較検討することで「祈り」の空間をめぐる設計意図の意味内容の広がり方を考察した(表1)。その意味内容は、人の観念や概念、人の感性によって捉えられるものなど【現象的側面】(以下【現象】)に着目する内容と、環境の制御や、形態の操作などの【物理的側面】(以下【物理】)に着目する内容の2つの大枠で捉えることができた。まず【現象】では、〈観念・概念〉に関して空間のイメージを表現した《イメージ形成》および、社会通念に則した《社会的認識》がある。また、人の〈感性による〉ものとして《人の知覚》および、空間の雰囲気

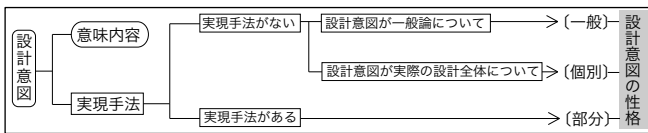


図1: 設計意図の扱い

No.062 外-会伊万里の聖母修道院聖堂 香山トリア/環境造形研究所 (新建築 199407) 用途: 教会
 …そしてまた聖堂は「祈り、働け」という motto の下で生活する修道院の中心的空間である01)。…世の中に建築物の種類は数多くあるが、これまで深く人びとの精神にかかわる建築02)がほかにあろうか。予算は極度に限られたものであった03)、しかしそのことによって、かえって建築は簡素なものとなり、光にふさわしい精神的な美しさが達成できた04)と思っている。通常の町の教会教会堂とは異なり、外-会の聖堂においては、2組の歌隊が交互に詩編を歌う。聖務日課が中心となる。したがって聖堂の配置はこの形式にふさわしい対面形式を取っており05)、前と後ろで屋根は直交方向にもち上がり、そこから光が内部に降り注ぐ06)と共に、外に対しての正面をつくり上げている07)。…(香山壽夫)

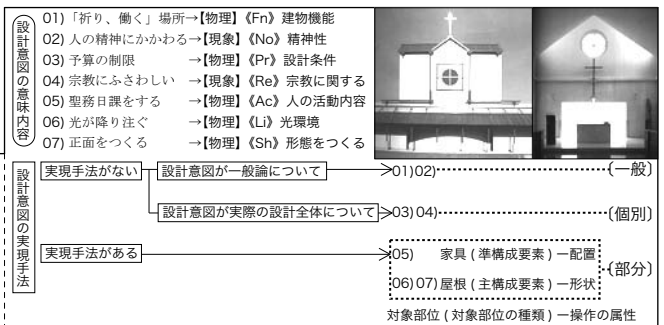


図2: 分析例 (下実線部は設計意図、下点線部は設計意図に対応する実現手法)

表1: 設計意図の意味内容表(註)()外の数字は設計意図の数、()内の数字は各意味内容が語られる資料数

側面	観念・概念	イメージ形成		社会的認識		感性による		空間の性質		思考・思想		宗教上の意味合い		建築としての意味合い		設計プロセス		環境制御		音・空気環境		周辺環境との対応		自然環境との対応		形態の操作		建物の機能		人の活動																																												
		Im	68	(35)	009-08	聖堂の外壁は三位一体を象徴した3枚の壁で囲み、方舟にもイメージを重ねる	Id	130	(69)	079-06	…建物に教会建築の象徴性を与えている	No	265	(100)	058-23	…この教会を訪れる誰もが親しみもてる場をつくる努力をした	At	206	(90)	141-02	…平和日本と、市民の街づくりのシンボルをつくることを主旨としている…	Ti	44	(31)	049-03	古い環境の中に新しい空間を挿入するという永遠の課題は…	Re	96	(59)	119-02	極楽浄土を願うかのように大きく広がった翼のような屋根が…	Ar	20	(17)	077-07	伝統的要素を新しい形態と材質で表示し、新しい寺院空間の在り方を探った	Pr	83	(44)	039-04	…施工期間や工事費予算などの制約から…	Li	92	(61)	095-06	…光から影へと向かう方向性、つまり光と闇の対比をテーマとしている	Ic	54	(30)	019-05	…音を乱反射し、クリアな音環境にしている	Su	110	(66)	088-15	…周辺の建築、樹木、空と一体化した開いた風景となる	Na	50	(29)	064-13	…自然をどのように建築空間に組み込むかが問われているのだ	Sh	173	(86)	081-05	…ある種の華麗さ、豪華さを意図したのである	Fn	105	(64)	014-01	…それは疲れた人を休ませ、癒わせる祈りの空間として作られた	Ac	97	(59)
現象的側面	○	社会的認識	Id	130	(69)	079-06	…建物に教会建築の象徴性を与えている																																																																			
	△	人の知覚	No	265	(100)	058-23	…この教会を訪れる誰もが親しみもてる場をつくる努力をした																																																																			
物理的側面	□	空間の性質	At	206	(90)	141-02	…平和日本と、市民の街づくりのシンボルをつくることを主旨としている…																																																																			
	◇	思考・思想	Ti	44	(31)	049-03	古い環境の中に新しい空間を挿入するという永遠の課題は…																																																																			
物理的側面	●	宗教上の意味合い	Re	96	(59)	119-02	極楽浄土を願うかのように大きく広がった翼のような屋根が…																																																																			
	▲	建築としての意味合い	Ar	20	(17)	077-07	伝統的要素を新しい形態と材質で表示し、新しい寺院空間の在り方を探った																																																																			
物理的側面	◆	設計プロセス	Pr	83	(44)	039-04	…施工期間や工事費予算などの制約から…																																																																			
	●	環境制御	Li	92	(61)	095-06	…光から影へと向かう方向性、つまり光と闇の対比をテーマとしている																																																																			
物理的側面	●	音・空気環境	Ic	54	(30)	019-05	…音を乱反射し、クリアな音環境にしている																																																																			
	▲	周辺環境との対応	Su	110	(66)	088-15	…周辺の建築、樹木、空と一体化した開いた風景となる																																																																			
物理的側面	▲	自然環境との対応	Na	50	(29)	064-13	…自然をどのように建築空間に組み込むかが問われているのだ																																																																			
	■	形態の操作	Sh	173	(86)	081-05	…ある種の華麗さ、豪華さを意図したのである																																																																			
物理的側面	■	建物の機能	Fn	105	(64)	014-01	…それは疲れた人を休ませ、癒わせる祈りの空間として作られた																																																																			
	◆	人の活動	Ac	97	(59)	059-15	…人びとが静かに祈りのひとときをもつことができたら幸いである																																																																			

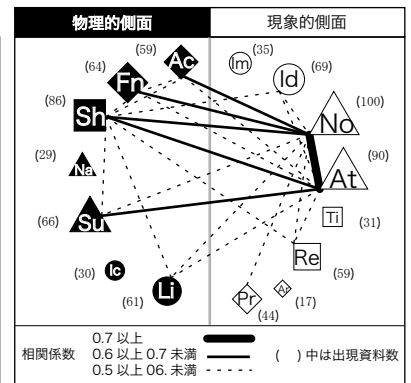


図3: 設計意図の組合せ

3. 設計意図に対応する実現手法 実現手法を伴う設計意図(部分)とその実現手法の関係について考察する。実現手法について、建物のどの部分を対象にしたかという対応部位と、その対応部位にどのような建築的操作を加えたかという操作の属性の組合せとして捉える。

3-1. 実現手法の対応部位 実現手法の対応部位について、空間としての広がりに関する空間単位、線的な空間に関する動線要素、建築構成の主体の部分に関する主構成要素、建築構成を補完する部分に関する準構成要素の4つの種類がみられた。これらとそれぞれの意味内容との関係を検討したところ(図6)、設計意図と対応部位の組合せの多いA~Dの4つのパターンが得られた(表4)。

3-2. 実現手法の操作の属性 実現手法の操作の属性について、物の配置や形状など実体的なものについての空間的操作と、材質や光など人の感覚に左右されるものについての感覚的操作がみられた。これらと意味内容毎の関係を検討したところ(図6)、設計意図と操作の属性の組合せの多いa~dの4つのパターンが得られた(表4)。

3-3. 実現手法の対応部位と操作の属性 実現手法の対応部位と操作の属性の対応関係について検討した(表5)。最も強い関係がみられたのは壁に対する材質についての操作であった。空間単位の中では建物に対しての配置、形状や室の光についての操作がよくみられた。主構成要素の中では開口部の配置や形状に対して、また屋根形状

や部材の工法に強い関係がみられ、準構成要素では特定の材質に対するその配置に強い関係がみられた。建築家の「祈り」の空間の設計に際して、以上の事柄に関して多くの配慮がされていることが明らかとなった。

4. 「祈り」の空間における建築家の思考 資料毎の建築家の思考と表現について考慮する際、(一般)は設計に対する建築家の姿勢を明確に表現している部分であり、中でも[現象]は建築家の思考のうち目に見えないものの考え方を言語化し表現したものであるとして重要であると考えられる。前章までの考察を踏まえ、設計論タイプと(一般)にみられる[現象]の関係に着目することで、「祈り」の空間の設計における建築家の思考について考察する(表6)。以下(一般)が[現象]のみの場合を[現]、[現象]と[物理]の両方があるものを[両]、(一般)が[物理]のみ、もしくは(一般)がなく、(一般)に[現象]がみられないものを[なし]と表記する。タイプIでは[なし]が著しく多く、次いで[現]も多くみられた。これらは(個別)に着目した場合も、[現象]に偏りが多くみられた。よって[現]では(一般)の[現象]に伴って、以下(個別)でも[現象]に偏った設計意図を示す傾向があると考えられる。また、[なし]((一般)で[現象]への偏りがみられない場合)でも、(個別)で[現象]へ偏りがあるものがみられ、このような場合は建築家の[現象]の位置づけがより具体化されたものであると考えられる。また、このとき(一般)において[現象]がなくても、

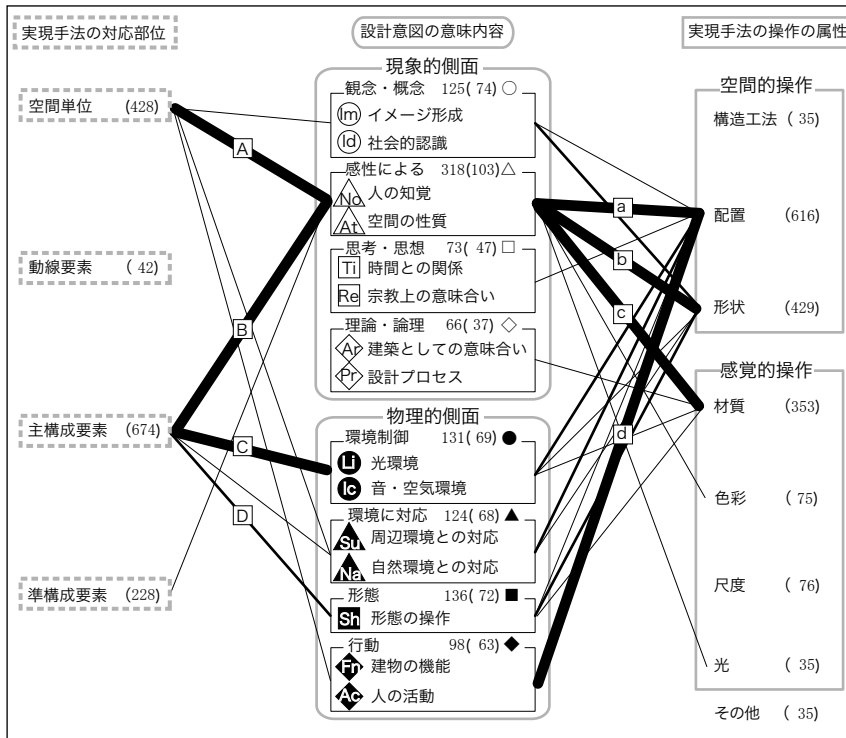


図6: 設計意図と実現手法の対応関係
図6註) 相関関数が 太い黒線 0.3以上、 黒線 0.25以上0.3未満、 細線 0.20以上0.25未満

表4: 実現手法のパターン例

A	B	C	D
070-07)	009-18)	066-05)	061-09)
…第1の原理である建築の一体感、外形が円になることにより容易に帰納すると思われた。	内部の壁は白煉瓦の壁で穏やかに囲み、…信徒に自然な一体感を持たせている…	…大屋根のトラスが…から入ってくる光をここで拡散させ…	…穏やかな求心性をこの空間に与えたいと考え、平行な壁の列が円の軌跡を描いて礼拝堂を包む構成とした…
がワイルトは石本建築事務所	カトリック神戸中央教会 村上晶子ワイルト	日本礼拝教会渋谷教会 河原一郎建築設計事務所	垂水教会 乃山西島正樹
a 089-13)	b 064-21)	c 041-21)	d 002-09)
…中央中庭には“大地に眠る”の彫刻を配して心の安らぎを求めている	…円錐形のミニマルな地下より水を噴出させ、それを流し、水音によって静寂さを表すことにした	…土壁と水による日本的な落ち着きをもたせた観想的な祈りを意識した空間をつくらせ…	…広がった部屋の中央には、家族の遺影と対話したり、お祈りができるように、小さな祭壇を配置した…
山武都市広域斎場 石本建築事務所	多摩霊園納骨堂 内井昭蔵建築設計事務所	聖イザベラ教会主聖堂 坂倉建築研究所東京事務所	鎌倉の納骨堂 みかんぐみ

表5: 対応部位の種類と操作の属性との対応関係

対応部位	操作の属性							計
	配置	形状	材質	尺度	色彩	光	その他	
空間単位	69	51	11	36	4	7	2	184
…空間としてのひろがり	64	19	3	25	4	12	12	140
動線	34	11		5		1	2	56
…線的な空間	6	2						8
主構成	16	3		2	2		1	24
…建築構成の主体の部分	6	8	2			1		17
準構成	46	62	1	79	6	13	3	209
…建築構成を補完する部分	81	52		43	8	9	3	197
開口部	11	44	1	28	19	4		107
屋根	23	24	16	18	6	2		92
…建築構成の主体の部分	10	18		10	6	3	2	50
天井	4	5		9		6	1	25
床	45	15		14	3	3		80
…建築構成を補完する部分	23	11		8	6	2		50
家具	26	6		2	4		1	39
池等	22	2		1	1			26
植栽	20	1		1				22
設備	2	6		1				9
門・塀	509	340	34	282	69	63	27	1335

表5註) 相関関数が 黒 0.3以上、 黒 0.25以上0.3未満、 黒 0.20以上0.25未満

ある特定の理想を持ちそれに向けた操作を行っているものと考えられる。タイプIでは[両]があまりみられなかった。これは設計意図全体のバランスを考慮するような建築家は、根底にある考えを示す(一般)で[現象]か[物理]のいずれかの立場を明確にしていると考えられる。タイプIでは[なし]が多く、(個別)に着目すると[物理]に偏りがみられるものが多い。これより(一般)が[物理]のときはそれに応じて具体化された[物理]の設計意図が示されることが多く、(一般)がない場合は実現に直結した設計意図に重点がおかれることで、建築家自身の考えが示されていると考えられる。また、設計論タイプごとに[現象]の意味内容の偏りをみると、タイプIは(一般)での[現象]の有無にかかわらず比較的均等に広がり、タイプIIでは全て(感性による)への大きな偏りがみられた。また、特に[両]に関して(観念・概念)や(思考・思想)にも広がりがみられた。タイプIIでも全て(感性による)に大きな偏りがみられた。その中で

も[両]は次に(思考・思想)で偏るが、[なし]では偏りはなく、[現]では(理論・論理)がみられないなどの差異があった。

5. 結

以上、現代日本の「祈り」の空間における建築家の設計意図について意味内容と実現手法の関係を考察し、その性格を分析した。実現手法については意味内容との関係から対応部位と操作の属性について各々4つのパターンを見出した。また、対応部位と操作の属性についてもいくつかの強い関係が導かれた。意味内容については各設計意図を現象的、物理的の2つの側面から検討し、資料毎のそれらの偏りから3つのタイプに分類された。各タイプについて、一般解として語られる設計意図での現象的側面の役割から資料の特徴を捉え、「祈り」の空間の設計意図における建築家の思考の一端が明らかになった。

(*) 本研究では国内の建築雑誌の中で代表的なものと思われる建築誌『新建築』の1976年から2006年について分析した。(1976, 1977年については資料がみられなかった。)
 (**) 掲載された現代の日本における建築家の具体的な作品を伴う設計論のうち、作品が教会や寺院、斎場、祈念のための場など、祈りを目的としていると読み取ることができたものを研究対象の資料とする。なお資料として取り上げた作品数は142であり、1593の設計意図が得られた。
 (***) 本研究では設計意図と表現との関係性について明らかにすることを目的とするため、設計意図を伴わずに手法のみが述べられている場合は扱っていない。

表6: 「祈り」の空間における建築家の思考

タイプ	[現象]>[物理]	(-一般に) [現象]の有無			例
		[現]:(-一般に) [現象]のみ	[両]:(-一般に) [現象]と[物理]両方ある	[なし]:(-一般に) [現象]なし	
タイプI	77	102, 126, 009, 135, 104, 075, 126, 137, 098, 090, 088, 071, 094, 065, 069, 077, 124, 061, 021, 044, 101, 090	051, 046, 064, 019, 095, 052, 106, 076, 034	001, 074, 004, 036, 035, 049, 113, 114, 100, 024, 109, 111, 017, 056, 038, 058, 125, 119, 011, 050, 132, 023, 142, 139, 026, 099, 025, 033, 027, 008, 068, 047	001 西光本堂 064 多摩霊園納骨堂 122 富士の納骨堂
タイプII	20	03, 3, 4, 3, 2, 4, 3	013, 122	140, 091, 134, 123, 141, 005, 116, 031, 020, 015	064 多摩霊園納骨堂 122 富士の納骨堂
タイプIII	45	0, 4, 11, 1, 8, 10	105, 084, 107, 083, 062, 019, 096, 007, 110, 078	081, 016, 070, 030, 117, 029, 002, 092, 089, 037, 006, 121, 063, 067, 053, 032, 133, 019, 040, 136, 130, 043, 072, 054, 085, 028, 131, 073, 087	123 日本バプティスト教会連合センター 105 カトリック五井教会 053 大原山七福天寺本堂
<p>表註)</p> <p>理論・論理: 8, 113, 200, 200</p> <p>観念・概念: 200, 200, 200</p> <p>感性による: 23, 233, 333, 388</p> <p>資料中の各意味内容の数</p> <p>思考・思想: (一般)が[現象]のみ (23), (一般)の一部が[現象] (233), (一般)に[現象]なし、または(一般)なし (388)</p> <p>凡例: (資料番号) (個別)中にみられた【現象】数 (個別)および(部分)中にみられた【現象】数 (個別)中にみられた【物理】数 (個別)および(部分)中にみられた【物理】数 (用いられた実現手法/パターン)</p>		<p>003 原想の森市営斎場</p> <p>135 聖ゲロリアの家</p> <p>093 西園寺無量寿堂</p>	<p>26</p> <p>10</p> <p>7</p> <p>3</p> <p>11</p> <p>3</p>	<p>41</p> <p>10</p> <p>10</p> <p>31</p>	